

報告書

玉縄台自治会員各位

令和2年4月26日

玉縄台自治会長

柳瀬 雄三

(本任状内の質問意見欄)

1 定時総会票決書面に記載された質問、要望、意見について

20名から23件記入頂きました。同類項は括って回答致します。

[質問] Q&A

①栄光坂(2件)

◇Q:進捗状況、復旧見通しは？

A:現在調査設計会社作業中。設計図が出来た段階で自治会にも情報開示されます。その後土留め工事が始まり、完成はあと1年ほどの見込みです。突貫工事を申し入れているのですが。

◇Q:信号設置、交互通行は渋滞発生で難しいのでは？

A:警察と道路隣接世帯数軒が難色。コロナで会議自粛のため、市役所で関係団体に個々に意見聴取に努めてくれていますが、変更は難しい状況です。

②回覧板(2件)

◇Q:従来の回覧板にデジタル併用は？回覧板不要世帯はスキップしてもいいですか？

A:自治会ホームページで始めていますので開いて見て下さい。スキップは全組アンケートをとってから一斉に行う予定です。回覧板スピードアップの利点も見込めます。

2020年3月より

ホームページ回覧板の案簿を積んできて

右組ごと

これぞの紙の回覧板は継続するが後回しにふんやスキップする人

その時に割り切

③個人情報保護規則(2件)

◇Q:第7条(2)、(3)の具体例は？

(2)「公衆衛生の向上または児童の健全育成の推進に必要がある場合」(には情報開示あり得る)

A:伝染病、ゴミ放置や児童虐待などで保健所、警察、市役所など公的機関から求められた場合。

(3)「鎌倉市および公共目的の団体が本会に関わる業務を遂行することに協力する必要がある場合」

A 空き家撤去、所有者不明家屋の縁戚照会など公的機関から求められた場合などが考えられます。

◇Q:個人情報の活用に大規模災害時は解るが、「個人的或いは特定地域の限定的災難に対する緊急活動」を加えるべきではないか？

A:(利用)第6条(5)に「防犯・防災の活動(災害・災難時の緊急時に救出、安否情報確認のため)」(に自治会保有の個人情報は利用できる)とあります。生命優先のため、災害・災難の規模の大小には関係なく個人情報を使えると規定しています。別途定める必要はないと考えます。

[要望]

① 防災(2件)

◇ 栄光学園を災害時の避難場所として利用できるよう働きかけて欲しい。

A 栄光学園は広域避難所に指定されており、災害時には野外敷地に避難できます。校舎内には原則入れませんが、災害規模によっては学園に要請します。今のところ義務化は出来ません。(裏面へ)

◇防災備品、非常食備蓄リストを開示して欲しい。

A:TTQ5分隊中4分隊の「いっとき集合場所」に防災倉庫が順次設置され、今年やまゆり分隊に予定。備蓄品は非常用トイレとテント、発電機、投光器、他です。食糧はありません。保存期限があり、全員分備蓄は不可能で争いの元になるからです。各家庭で備蓄してください。備蓄品は防災部で予算を確保し、市の助成を活用しながら毎年充実させています。各分隊で備蓄品リストをポスティングするのはいいですね。ヒントありがとうございます。自分の所属分隊ご存知ですか？

②防犯

◇自治会エリア内で交通規則が守られていない。交差点5m以内駐車禁止、路上駐車、すこやか通り30km制限など。安全、安心の運転を徹底しよう。

A:指摘の通りです。運転する方マナー向上に努めて下さい。また、子どもが増えていますので、飛び出しや坂をハイスピードで降る自転車、ローラーボードも要注意です。保護者のしつけが大事。

[意見、提案]

- ① 自治会予算は多くの会員共通のために使って欲しい。卓球台より危機管理に。(3件)
 - ② 役員人事は将来を見据え、若い世代の参加を促してほしい。
 - ③ 総会議案書はもっと簡素化してコストを下げては？
 - ④ 防災対策として、バスタブには常時水を貯めて置くべし。玉縄台は高台なので停電が続くと水が止まる。時々アンケートを行なって実行率向上を促してはどうか？(TTQのテーマですね)
 - ⑤ マスクの作り方、紙型などを自治会ホームページで紹介しては？
 - ⑥ 自治会員同士の挨拶を励行しましょう。爽やか運動として。
 - ⑦ ホームページとてもいいです。今後も続けて欲しいです。
- *組内の転出世帯を書いてくれた方がいます。ありがとうございます。 以上

退任挨拶

昨年、会長が決まらないと言うことで引き受けましたが、この度立候補者が現われました。一瞬、決選投票が頭をよぎり、玉縄台自治会初のこれをやったらどうなるか？選挙史上最低の投票率になり、全国紙の地方版くらいには載る珍事になるのかも。なんて思いましたが、疎まれる前に禅譲も花道なりと。ジョークはともかく、全国的に消滅する自治会が増えていることは残念です。向こう三軒両隣の付き合いを大事にする日本の自治町内会組織は、欧米にはあまり類を見ません。災害が少なく、教会がコミュニティの中心だからでしょうか。日本独自のこの組織は、災害列島なるが故のようにも思います。いざと言う時お互いがヘルプする。企業戦士の現役世代にも、自治会防災には参加して欲しい。遠からず必ず来る大地震 職場にいたら妻や子は？遠慮無く隣人にヘルプを頼めるような自治会でありたい。

1年間を共にした役員と、ご協力頂いた会員の皆さまにお礼申します。ありがとうございました。